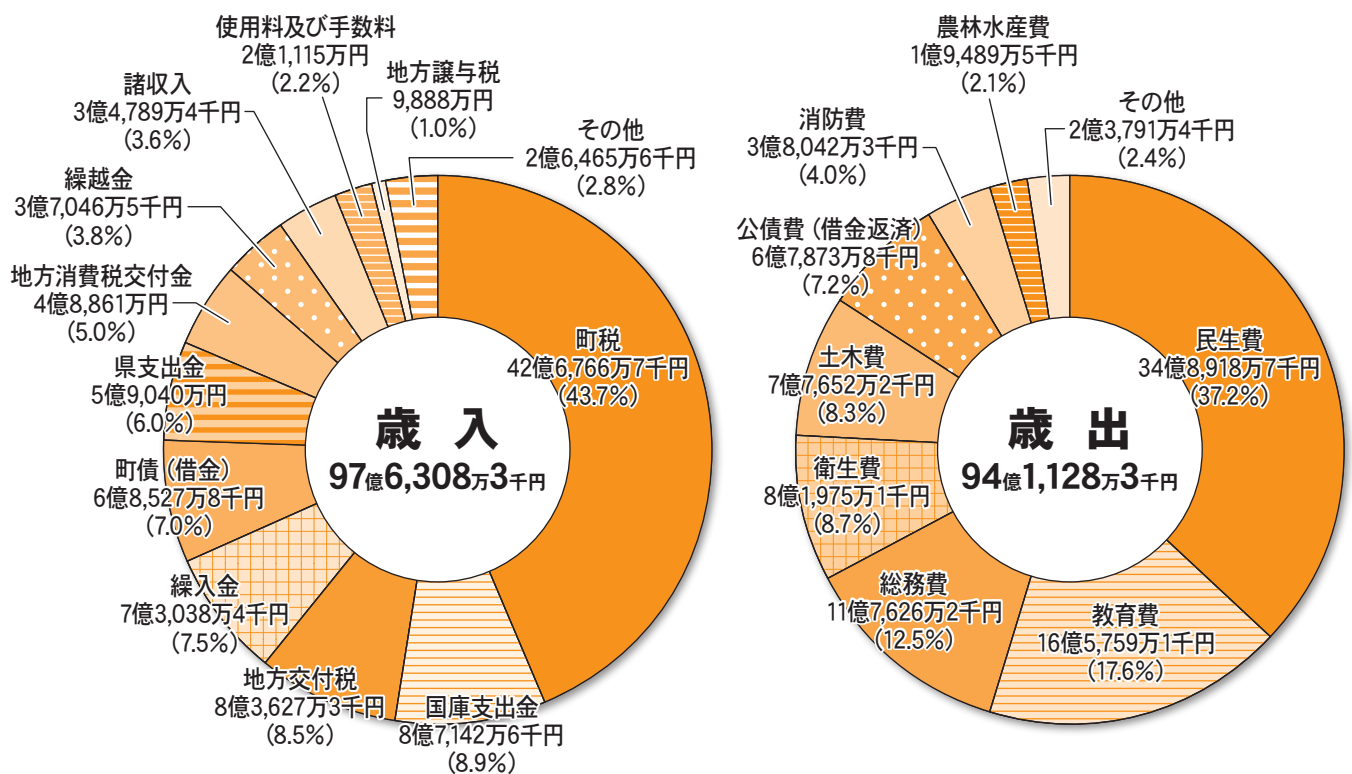


# 平成30年度 決算

平成30年度一般会計、5つの特別会計と水道事業会計の決算を審議した。

- 一般会計の歳入歳出差引額（形式収支）は、3億5,180万円の黒字となった。そのうち、翌年度（平成31年度）に繰越すべき財源としての繰越明許費繰越額1,722万8千円を差引いた実質収支は、3億3,457万2千円の黒字となった。
- 一般会計決算は、歳入・歳出ともに前年度より増額となっており、主なものは、歳入では自動車関連企業の業績回復などによる法人町民税の増額など、歳出では学校環境整備事業の増額など。

## 平成30年度 一般会計決算



## 平成30年度 特別会計・企業会計決算

区分	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
国民健康保険	25億5,962万7千円	25億279万6千円	5,683万1千円	
土地取得	1億7,047万2千円	1億7,047万2千円	0円	
下水道事業	5億9,326万4千円	4億8,991万9千円	1億334万5千円	
介護保険	19億2,752万6千円	17億5,425万8千円	1億7,326万8千円	
後期高齢者医療	3億6,513万7千円	3億5,674万9千円	838万8千円	
水道事業会計	収益的収支	5億8,909万8千円	5億3,735万5千円	5,174万3千円
	資本的収支	550万8千円	1億551万3千円	※△1億5千円

※不足分は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金、過年度分損益勘定留保資金で補てん。